

令和3年第1回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏 名	質問順	氏 名
1	塩田 智明	8	若生 英俊
2	菅原 福治	9	浅野 直子
3	菊池 美穂	10	渡邊 清美
4	長谷川 る美	11	藤原 峻
5	青柳 信義	12	安住 稔幸
6	出川 博一	13	佐藤 浩崇
7	村上 治	14	

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	2月15日（月）
受付時間	8：40

一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 2月15日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 4 番 塩田 智明

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	塩田 智明
質 問 方 式	☐ 一括 ☒ 一問一答

No. 1 質問件名 新型コロナワクチン接種の取り組みを問う

【質問要旨】－簡明に－

本市では、1月6日にワクチン接種特別対策チームが設置されました。

新型コロナウイルスから日常を取り戻すために、もっとも期待されているのがワクチン接種です。市民にとっても関心が高く、安全で円滑な接種が求められることから、令和3年1月25日に行われた第2回新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に関する自治体向け説明会の資料1に基づいて、市民目線で、現在の取組状況と今後の見通しについて、質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 接種をスムーズに進めるため、緻密な計画を立てても、予定どおりにワクチンが届かなければ、そもそもの計画が崩れてしまいます。ワクチンの供給が想定どおりに進むのか、現時点での見通しについて伺います。
- 2 厚生労働省が示す方針によれば、医療従事者に対する接種は国や都道府県が取り組み、その他の人への接種は市区町村が実施主体となっていますが、自治体から寄せられた意見では、817自治体が「医療関係者の確保」を課題として上げています。本市では、医療関係者など、人員の確保は十分でしょうか。
- 3 厚生労働省が示す方針によれば、65歳以上の高齢者向け優先接種は、4月1日から開始するとされていますが、接種券の配布の予定時期と予約方法について伺います。
- 4 接種場所については、医療機関での個別接種に加え、集団接種も視野に入れて検討されているとのことですが、集団接種会場となる施設を伺います。
- 5 接種後に少しでも異常があった場合に、早期に発見して適切な対応する体制を構築していくことが一番大事だと思います。接種会場での接種後の状態観察や帰宅後に異常を感じたときの対応について、本市の考えを伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	2月15日（月）
受付時間	8：50

一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 2月15日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 13 番 菅原 福治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菅原 福治	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 新型コロナウイルスワクチン接種の準備に万全を

【質問要旨】－簡明に－

本市のコロナ感染者数は、県内他自治体と比較して低位の水準で安定しており、仙台市に隣接している中で、市民のコロナに対する社会的認知度、意識は高いと思います。

コロナ感染の撃退には、PCR検査の継続とウイルスワクチン接種が最も重要です。

本市は、いち早くコロナウイルスのワクチン接種に備え「新型コロナウイルスワクチン接種特別対策チーム」を設置しました。

そこで、以下の点について問う。

【質問項目】－列記－

- 1 本市の、飲食店の営業時間、会社のテレワーク、外出および移動自粛等の状況について
- 2 新型コロナウイルスワクチン接種特別対策チームの準備状況について。
 - ① 接種券の配布は、どのように行うのか。
 - ② 医師会と接種方法等の調整は、進んでいるのか。
 - ③ 市民への情報提供は、どのように進めるのか。
 - ④ 接種手続き等に関する相談対応は、どう進めるのか。

答弁を求める者 若生市長

議 員 名	菅原 福治	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 2 質問件名 総合計画後期計画、地方創生戦略、SDG s の
一体的取り組み反映と市民周知について

【質問要旨】－簡明に－

市は、令和3年から令和7年度までのまちづくりの指針となる「総合後期基本計画」と、人口増加に向けての「地方創生戦略」（案）を策定しました。さらには、目標年度まで10年を切った持続可能な開発目標「SDG s」を新たな視点に加え、各種施策に一体的に取り組むこととしています。

そこで、以下の点について問う。

【質問項目】－列 記－

- 1 総合計画、地方創生、SDG s の一体的取り組みの考え方について
- 2 SDG s における、これまでの主な事業3点と、新たな施策3点について
- 3 小・中学校での、SDG s の取り組みについて
- 4 総合計画後期計画とSDG s の周知を、どのように行っていくのか。

答弁を求める者 若生市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	2月15日（月）
受付時間	8：55

一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 2月15日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 1 番 菊池 美穂

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 少子高齢化社会への課題(デジタル化推進、人口減少対策基金、不妊治療支援)を問う

【質問要旨】－簡明に－

コロナ禍により不穏な情勢が続く今日、今後も、いつ、どんな災害や緊急事態に見舞われるか分からない中、本市でも必ず訪れる少子高齢化による人口減少（税収、労働力減）により、社会保障制度における負担と受益のバランスが破綻することが懸念されます。刻一刻と迫る高齢者と現役世代の人口が、1対1に近づく「肩車社会」へ立ち向かうため、いち早く手を打つべきと考え、諸課題への対策強化を問います。

行政のデジタル化は、職員の負担軽減や労務コストの抑制、そして省力化により、増幅する介護分野など、他の業務に人的資源を充てることが可能になります。緊急事態への対応に加え、今後深刻化する労働力不足を乗り越えるため、体制整備は急務です。

そして、「長寿社会福祉基金」を「人口減少対策基金」と改め、既存の他にも、少子化や人口減少に対応するものを新たに組み込み、使途に幅を持たせることを提案します。どんなことがあっても、その貯金があれば安心であると、市民の明るい将来像に寄り添えるものにすべきと考えます。

また、不妊治療を目的とする市職員の休暇制度を新設し、民間企業に波及させ、不妊治療を本市全体、そして社会全体で考え、応援する風土を作っていくべきと考えます。

【質問項目】－列記－

- 1 マイナンバーカードは、様々な手続きをデジタルで行うための基盤となります。
本市の交付率とその推移は。
 - 2 全庁的に、規制のリデザイン(デジタル化・オンライン化の障害となる制度の見直し)を実施し、課題を洗い出すべきと考えますが、見解は。
 - 3 窓口レスを推進すべきと考えますが、書面、押印、対面に関する制度・慣行の見直しが必要では。対面で手続きを行うときにおいても、予約の仕組みを導入すべきでは。
 - 4 「長寿社会福祉基金」を「人口減少対策基金」へと改め、既存の使途に加え、少子化や人口減少に対応するもの、例えば、結婚・出産支援、就労移住支援、IUJ ターン支援などを組み込み、更に幅を持たせるべきと考えますが、見解は。
 - 5 不妊治療を目的とする市職員の休暇制度を新設する考えは。
-

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	2月15日（月）
受付時間	11：15

一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 2月15日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 11 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 市道の側溝整備・舗装修繕の加速と除融雪について

【質問要旨】－簡明に－

富谷市の後期基本計画の中に、道路側溝の有蓋化や適切な除融雪の実施など、「人にやさしい道づくり」の推進が記されています。

今年度の年末年始の除融雪は、全国的に平年以下の気温が低い日が多く、降雪量も多かったことから、小型除雪機の出動や適切な除融雪がなされていたのか、また、令和3年度の側溝整備事業が、公共施設等適正管理推進事業債を活用して大幅な増額となり、今後の計画のなかでも、それが継続されるのか気になるところです。

そこで、以下のことについて質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 積雪時における通学路の除融雪は、適切になされましたか。
- 2 小型除雪機の出動基準を見直す考えは。
- 3 令和3年度の「側溝整備事業」に、公共施設等適正管理推進事業債を充てることになった経緯について。
- 4 舗装修繕工事の加速については、どのような検討がなされていますか。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	2月15日（月）
受付時間	11：30

一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 2月15日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 8 番 青柳 信義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	青柳 信義	
質 問 方 式	一括 <table><tr><td>一問一答</td></tr></table>	一問一答
一問一答		

No. 1 質問件名 新型コロナウイルス感染拡大における、高齢者の認知症、
フレイル化予防について

【質問要旨】－簡明に－

新型コロナウイルス感染拡大状況が続くなか、感染リスクが高いと言われている高齢者は外出自粛、各種行事、交流の場、会合の中止など、窮屈な生活を余儀なくされ、健康増進や社会参加の活動ができなくなっています。

多くの要因が重なる中で、高齢者の心と体の健康や介護予防への対応が心配されます。三密を回避する中で、新しい生活様式を踏まえ、認知症、運動不足、フレイル化の予防への提案も必要になってきていると考えます。

※ フレイルとは、「加齢により、身体的機能や認知機能の低下がみられる状態」

【質問項目】－列記－

- 1 コロナ禍における高齢者交流の場の活動状況について、お伺いします。
 - ① ゆとりすとクラブサロン事業
 - ② 虹いろ会食サロン
 - ③ 街かどカフェ
 - 2 住民からの健康や介護予防などの要望等は、コロナ禍になってから、どのようなものがあつたのか、お伺いします。
 - 3 コロナ禍の自粛生活長期化による高齢者の認知症、運動不足、フレイル化の予防について、現状どのように対応し、今後どのように取り組んでいくのか、お伺いします。
 - 4 コロナ禍で、高齢者の方と地域との連携が薄れています。ウィズコロナの中で、今後どのように取り組んでいくのか、お伺いします。
-

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	2月15日（月）
受付時間	11：35

一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 2月15日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	出川 博一
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 コロナウイルス禍の新年度予算は

【質問要旨】－簡明に－

予想だにしない新型コロナウイルス感染対応への長期化により、これまで経験したことのない行政運営を強いられています。

その状況の中で、令和3年度予算は、市税・地方消費税交付金の減額を埋めるため、基金（貯金）の取り崩しと市債（借金）の増による編成を余儀なくされ、苦勞されたことと推察いたします。

新年度予算について、以下の点について問う。

【質問項目】－列記－

- 1 今回策定される総合計画・後期基本計画(案)、国土強靱化地域計画(案)への財政措置は。
- 2 歳入予算計上における市税、地方消費税交付金、地方特例交付金、地方交付税の算定根拠は。
- 3 第4次財政計画（2020～2022）では、令和3年度大型投資事業が予定されていましたが、見直しはされたのか。
- 4 認定こども園設置事業補助金の財源内訳と、民間事業者・公立の場合の補助額の違いは。
- 5 富谷宿観光交流ステーション運営事業は、24,611千円（交付金11,852千円）で足りるのか。

答弁を求める者 若生市長

議 員 名	出川 博一	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 2 質問件名 第2次行政改革 職員の意識は

【質問要旨】－簡明に－

平成30年度～令和2年度の第1次行政改革は、全体的には、市民の協力を得ながら大きな成果を上げ、賞賛できるものと、私は感じています。

今年度までの3年間で、事務事業の見直しや歳入確保策に取り組み、その結果として財政調整基金（貯金）は増加し、地方債（借金）を減少させることができました。

第2次改革として継続する基本方針(案)について、以下の点について問う。

【質問項目】－列 記－

- 1 職員の資質向上は永遠のテーマであるが、第2次の策定にあたり新たな取り組みは何か。
- 2 主な取組内容で、今次「民間活力導入の推進」と「歳出削減の実施」がなくなった理由は。
- 3 経費の節減にウエイトがかかり過ぎ、業務プロセスの見直しは進んでいるのか。
- 4 保守契約において長期継続契約が増えているが、その理由は。
- 5 小中学校のエアコン導入とFF式暖房機併用の理由は。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	2月15日（月）
受付時間	11：40

一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 2月15日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 3 番 村上 治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	村上 治
質 問 方 式	☐ 一括 ☒ 一問一答

No. 1 質問件名 空き家対策の進捗について問う

【質問要旨】－簡明に－

本市における空き家対策計画(2018年度～2022年度)は5年間の3年目、折り返しを過ぎたところです。地域の生活環境改善をさらに推進するため、計画実施の進捗状況等現状を分析し、現時点の課題を洗い出し、適切に取り組むことが重要です。

そこで、以下の点について伺います。

【質問項目】－列記－

- 1 空き家等の発生予防・啓発
 - ① 所有者への啓発
 - ② 町内会等による情報提供
- 2 空き家等の適切な維持管理
 - ① 所有者への意識啓発
 - ② シルバー人材センターとの連携した適正管理支援
- 3 空き家等の利活用
 - ① 所有者情報の外部提供
 - ② 空き家バンクの検討
- 4 解体除却・跡地利用の促進
- 5 相談・実施体制の整備

以上の進捗状況を分析した結果及び問題点をどのようにとらえているか、それを受けて、今後どのように取り組まれますか。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	2月16日（火）
受付時間	9：30

一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 2月16日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 10 番 若生 英俊

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	若生 英俊	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 富谷市総合計画・後期基本計画（案）、第2次富谷市地方創生総合戦略（案）、第2次富谷市人口ビジョン（案）について

【質問要旨】－簡明に－

令和3年から「後期基本計画」に基づくまちづくりが始まる。東日本大震災後10年、コロナ下、コロナ後の市民の日常や行政の在り方など、前期5年とは大きく異なるものになることから、これらを見通した視点を持った施策の絞り込みが望まれる。

国勢調査の速報値発表が、通常の2月から6月になった。前回の51,591人から200人前後の増加と見込まれ、どの推定値より低い。平成30年1月の52,678人をピークに、3年間人口が減少している。第2次富谷市人口ビジョン（案）にあるとおり、平成30年データでは、周辺市町村への転出超が顕著で「仙台市のベッドタウンとしての人の吸引力が弱まってきている」（p11）ことが背景にある。転出者数を抑制する施策展開が望まれる。「住みたくなるまち」に加えて、「住み続けたいまち、住み心地がいいまち、買い物・医療機関が充実しているまち、子育てしやすいまち、仙台に行かなくても日常生活ができる利便性の高いまち」など、市民は求めている。

図書館、スイーツステーション、児童屋内遊戯施設を複合施設とする整備計画が、後期基本計画において、「整備を検討する」「施設整備が求められている」とあるが、早期着手を求め、以下質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 新しい時代に沿った市政運営に向けた施策の展開とは。
- 2 行政サービスのデジタル化の推進スケジュールは。（後期基本計画 p5）
- 3 平成30年1月の52,678人をピークに、3年間人口が減少してきた要因は。
- 4 出生率を上昇させる施策とは。（人口ビジョン p27）
- 5 仙台市のベッドタウンとしての機能維持及び仙台経済圏としての位置づけの継続維持の具体策は。（人口ビジョン p32）
- 6 複合施設基本方針の内容は。
- 7 図書館を核とした複合施設の整備推進のスケジュールは。
- 8 インターネットで本が読める「電子図書館サービス」の実施の考えは。
- 9 コロナ後における施設整備の在り方の基本的考え方は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	若生 英俊	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 2 質問件名 コロナ禍における「ひとり親世帯」及び「とみやど出店事業者」の支援策について

【質問要旨】－簡明に－

コロナ感染症が拡大して1年が経過した。国と本市は、様々な支援策を講じてきたが、ワクチン接種による収束が期待される中、コロナ禍の影響はしばらく続くものと思われる。「コロナ前と比べて、ひとり親世帯の6割が減収か無収入になった」との記事があり、市民からも窮状を見聞きする。記事では、全国のひとり親世帯は約142万世帯で、うち母子世帯は86%、その4割超が非正規就労となっており、世帯別の相対的貧困率は、ひとり親世帯が48.3%（ふたり親世帯は11.2%）であることから、市内のひとり親世帯、とりわけ、非正規就労の母子世帯に対する生活支援は、何らかの形で必要であると考ええる。

また、コロナ前から計画されたとみやど出店事業者も、令和3年4月17日のグラインドオープンを前に、コロナ禍での営業開始に不安を抱えている。令和3年1月26日の産業建設常任委員会では、「起業支援関連施策について」所管事務調査を行った。出店事業者にとって、営業継続の観点から売上確保が絶対的課題と思われる。コロナ禍前の事業計画であることから、厳しい経営環境が予想されるが、議会としても「育てる立場」に立つ責務を負うと考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 ひとり親世帯への市独自支援の検討は。
- 2 経営を継続させるための各出店事業者毎のコスト計算は、厳密になされているか。
- 3 年間10万人の来場者は、コロナ禍を考慮しているか。
- 4 経営の安定のため、来場しなくても売り上げを確保する検討は。
- 5 経営困難となった場合のとみやど出店事業者への市としての対応は。
- 6 これまでの経営支援と今後検討している支援策は。
- 7 集客の目玉となる商品力、立地、周辺環境の評価は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	2月16日（火）
受付時間	9：55

一 般 質 問 通 告 書

令和 3年 2月16日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 16 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野直子	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 令和3年度予算施政方針について

【質問要旨】－簡明に－

昨年から続く新型コロナウイルス感染症は、全世界の生活様式を一変させました。いよいよワクチン接種も2月中旬より医療従事者から始まり、全ての国民にワクチンの供給が待たれますが、本市の令和3年度予算もコロナ禍におけるワクチン接種事業を筆頭に、10項目の重点施策が示されました。

また、この他にも施策の拡充が掲げられ、充実した予算執行になるものと思われる。

このことを踏まえて、以下質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 ワクチン接種に伴う進捗状況について問います。
- 2 高齢者・障がい者の交通対策の拡充内容を問います。
- 3 デマンド型交通実証運行の状況と今後に向けた運行支援について問います。
- 4 生活困窮者自立支援促進事業について、拡充内容と課題を問います。
- 5 県の事業として、「子どもの心のケアハウス運営」が教育支援センターに転換されますが、本市の取り組みを問います。

議 員 名	浅野直子	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 2 質問件名 震災から 10 年 今後に向けた対策は

【質問要旨】－簡明に－

3 月で 10 年を迎える東日本大震災を前に、2 月 13 日宮城・福島で震度 6 強の地震が発生いたしました。本市においては、直ちに特別警戒本部会議を開催し、市民への安心と状況把握に努められました。10 年前は津波による被災も多く、沿岸部の方が本市へ移住され、地域活動にも参加されながら日々の生活を送っています。

今回、令和 3 年度から 7 年度の 5 年間の国土強靱化地域計画案も示されました。私達も「心の復興」「人間の復興」を願い、走り続けた 10 年ですが、まだまだ予断を許さない余震情報、そして計画案に示されたリスクシナリオの推進方法など、早急に進めなければなりません。市民の命を守ることが大前提ですが、被災地から転入された方々の心の復興に寄り添った支援と震災から 10 年、常に防災意識の啓発強化に努めること等を求め、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 震災から 10 年、その間の災害もありましたが、本市の防災対策はどのように変化したのか、改めて問います。
- 2 沿岸被災地からの転入者、親族など、「心の復興」、支援はどのように取り組んできたのか問います。
- 3 東日本大震災はまだ続いているということを、今回の余震で改めて認識し、更なる自助努力と共助の連携強化が大事であると思いますが、今後の啓発活動を問います。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 0
受付月日	2 月 1 6 日 (火)
受付時間	1 4 : 1 0

一 般 質 問 通 告 書

令和 3 年 2 月 1 6 日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 5 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第6
2条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊清美	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 新型コロナウイルスワクチン接種を問う

【質問要旨】－簡明に－

新型コロナウイルス感染症が国内での発生が確認され、1年が経ちました。国内の感染は鈍化するものの感染の拡大は続いています。

3月の下旬より、65歳以上の高齢者、医療従事者の接種が始まります。1月6日に本市でもワクチン接種特別対策チームが設置されました。

ワクチンは2回の接種が必要とされていますが、単独での移動が困難な住民も多くいます。

全ての住民が安全に、スムーズな接種が出来るよう以下質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 ワクチンは2回の接種が必要になり、迅速かつ適正な接種が必要です。富谷市のワクチン接種の計画状況は、どのようになっていますか。
- 2 接種場所までの移動の困難な住民も多くいます。高齢者、障がい者等の安全な移動手段の確保は、どのように考えていますか。
- 3 コロナ禍で、集団接種を行った場合、問診、接種、その後の副反応をみるなど、長時間その場に留まらなくてはなりません。接種場所の感染対策を、どのように考えていますか。
- 4 個人接種等の予約を、LINEなどで行う事は考えていますか。

答弁を求める者 市長

議 員 名	渡邊清美	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 2 質問件名 介護保険事業計画第8期の課題を問う

【質問要旨】一簡明に一

介護保険制度は、国民の期待を集めスタートし、20年が経過しました。当初から言われていたとおりの「保険あって介護なし」の状況は、ますます深まっています。

この20年、介護認定の判定基準の改変、特老など施設建設の抑制、入居者への食費、居住費の原則自己負担化、利用料の負担増など、利用料でも保険料でも負担を強いる改悪が続いています。

一方、介護現場では、劣悪な環境での介護、処遇の改善はされておらず、離職者が相次ぎ、深刻な人手不足が起こっています。介護報酬の削減で、経営が成り立たないという事業所の声も聞かれているも、抜本的な改善策は取られていません。

コロナ禍で、外出、人との関わりが減り、要支援の増加が見込まれています。対策も急務と考え、以下質問します。

【質問項目】一列 記一

- 1 介護保険料の負担が重くなっています。介護保険事業計画第8期の介護保険料基準額は、7期と同額でしたが、今後、要介護認定の増加も見込まれます。急激な保険料の負担増が起きないように対策が必要と思われますが、市の見解は。
- 2 介護保険料の減免制度の実施、拡充を今後どのように考えていますか。
- 3 介護労働者の人材確保、良質な介護サービスの提供が課題になっています。介護事業所の実情の把握を、市はどのように行っていますか。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 1
受付月日	2 月 1 7 日（水）
受付時間	1 0 : 5 5

一 般 質 問 通 告 書

令和 3 年 2 月 1 7 日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 6 番 藤原 峻

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和3年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	藤原 峻	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 市内道路の安全確保の推進状況は

【質問要約】－簡明に－

各町内会から市に、市道関係の改善を求める多様な要望書が出されています。

例として、明石台地区の徐行表示(第三町内会、以下、町内会は省略)、車椅子移動のための段差解消(第五)、ハンプ設置、横断歩道・標識の設置(第七)、十字路への停止線・ガードレール及び街灯の設置(第九)など。

成田地区の通学路へのハンプ設置、カーブミラーの寒冷地仕様への変更、生活道路をゾーン 30 に(第三)、カーブミラーの設置(第二・三)など。

富ヶ丘地区のハンプ設置、深夜信号機の赤色点滅への変更、安全ミラーの設置など。どれも、生活に関係する大切な要望です。

市として、改善をしている姿も見ていますが、さらに、市民の安全性を高めるために、速やか、かつ着実に改善を行うための計画の優先順位などを伺います。

※ ハンプとは、道路上の一部を隆起させ、減速を促す構造物

【質問項目】－列記－

- 1 各町内会からの道路の安全性確保に関する 2020 年における要望の数と、改善数は。
- 2 特に、通学路の安全性向上は優先すべきと考えますが、市の考えは。
- 3 明石台地区では、住宅地の造成が進み、住民が増えています。これまで想定されていなかった道路での安全対策が急務と考えます。市の考えは。
- 4 町内会からの要望（ハンプ設置、カーブミラー設置など）で、何が課題となっていますか。
- 5 命を守るための対策には、予算を多くつける必要があると考え、見解を伺います。

答弁を求める者 市長

議 員 名	藤原 峻
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 2021 年度のコロナに関する独自支援策を問う

【質問要旨】－簡明に－

自粛・時短要請により、感染者数は減少傾向にあります。しかし、要請が行われた結果、補償対象外の市内事業者も影響を受けており、更なる支援策が必要です。

また、文化・芸術関連の事業者は、イベントが軒並みなくなり、大変な状況にあります。市内のアーティストの人材発掘、文化・芸術面を守り、育む支援策について、仙台市の取り組みを参考に検討してはどうか。

ひとり親世帯など、貧困の状況は大変な状況にあります。野村総研の調査では、パートアルバイトでシフトが減少した人のうち 2 人に 1 人が「金銭的理由で生きていくのが難しいと感じる」と回答しており、実際に、女性の自殺者は多くなっています。

また、富谷市でも虐待の痛ましいことが起きています。命を守るための支援策が必要では。

【質問項目】－列 記－

- 1 市内事業者へ独自の補助金など、更なる支援策が必要では。
 - 2 仙台市の「多様なメディアを活用した文化芸術創造支援事業」を参考にして、文化・芸術関連事業者への支援策を検討しては。
 - 3 ふうどばんく東北 AGAIN の富谷市民への直接支援が、去年は 8 8 世帯と前年の倍以上です。母子・父子家庭などの困窮世帯、困窮者支援団体への支援策の検討は。
 - 4 令和 2 年に厚労省から「支援対象児童等見守り強化事業の活用について」の事務連絡があります。仙台市のように、本市も虐待防止のため、状況の把握や食事の提供、学習・生活指導支援などを通じた子どもの見守り体制の強化が必要では。
 - 5 生活保護が、命を守る最後のセーフティネットです。しかし、家族確認が申請の障壁であり、知られたくないため 3 分の 1 の人が生活保護を受けない選択をしているという調査もあります。厚労大臣は「扶養照会は義務ではない」と国会で述べており、本市での扶養照会も相談者の承諾を得られた場合にすべきでは。
-

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 2
受付月日	2 月 1 7 日（水）
受付時間	1 1 : 3 0

一 般 質 問 通 告 書

令和 3 年 2 月 1 7 日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 1 6 番 安住 稔幸

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 3 年第 1 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	安住稔幸
質 問 方 式	☐ 一括 ☒ 一問一答

No. 1 質問件名 自転車安全利用条例の施行について

【質問要旨】－簡明に－

環境に優しい交通手段で、身近で手軽な乗り物として多くの人が自転車を利用しています。しかし、そのためか歩行者や他の自動車を巻き込んだ事故は、一向に減ることがありません。また、自転車事故での高額賠償の判決も相次いでいます。

宮城県は、県、県民、自転車利用者その他の関係者の責務を明らかにするとともに、自転車の安全利用に関する施策の基本的な事項を定める「自転車安全利用条例」を制定しました。施行は本年４月１日です。

以下、質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 自転車安全利用条例の周知と市としての取り組みは。
- 2 安全教育への取り組みは。

答弁を求める者 市長

議 員 名	安住稔幸
質 問 方 式	☐ 一括 ☒ 一問一答

No. 2 質問件名 市民への情報発信について

【質問要旨】－簡明に－

2月13日に、東日本大震災の余震の地震が発生しました。市民は、不安の中で一夜を過ごしたと思います。また、新型コロナウイルスワクチンの接種も始まろうとしており、市民への情報の発信は大事と考えます。

そして、富谷の協働ガイドラインがまもなく示されます。協働のまちづくりには、更なる情報発信の推進が必要不可欠です。

以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 市 HP のリニューアルの内容は。
- 2 HP やメール、LINE 等のソーシャルメディア（SNS）の登録者数、閲覧数は。
- 3 2月13日の地震における情報発信の状況は。
- 4 安全安心メールで、防災情報に限定しない、他の情報の発信は。
- 5 市民が情報を取りに行くのではなく、市からの積極的な情報の発信は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	安住稔幸
質 問 方 式	☐ 一括 ☐ 一問一答

No. 3 質問件名 ユネスコスクールにおける国内外の学校との交流について

【質問要旨】－簡明に－

グローバル社会であり、多種多様な考え、習慣の違う人々と出会うことは、人生において大事であり、欠かせないものと考えます。今後は、更なる交流の推進、特に海外校との交流が大事です。

以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 これまでの他校との交流の取り組み状況は。
- 2 今後の交流の計画は。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 3
受付月日	2 月 1 7 日（水）
受付時間	1 1 : 5 0

一 般 質 問 通 告 書

令和 3 年 2 月 1 7 日

富谷市議会

議長 渡 邊 俊 一 殿

富谷市議会議員 2 番 佐藤 浩崇

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 3 年第 1 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	佐藤浩崇
質 問 方 式	☐ 一括 ☐ 一問一答

No. 1 質問件名 SDGs の更なる推進について

【質問要旨】－簡明に－

4月から始まる後期基本計画では、「SDGs の推進」を新たな視点に加え、各種施策に取り組む方針が打ち出されました。本市が基本構想に掲げている4つの基本方針や、6つの基本理念に基づいたまちづくりを進めることが、SDGs の達成に貢献するものと捉えています。

SDGs の達成に向けた動きを、より大きなものにしていくために、市民一人ひとりがまちづくりの当事者であることを理解していくことや、多くの市民・団体を巻き込みながら、市民の活動をより活発なものにし、持続可能な活動にしていくことが望ましいと考えます。

※ SDGs とは、2030 年を目標年度とした、「誰一人取り残さない」持続可能な世界を実現するための17 のゴール、169 のターゲットで構成された、世界共通の目標です。

【質問項目】－列記－

- 1 SDGs や本市のまちづくり構想の認知度について、本市の見解は。
- 2 本市のまちづくり事業が、SDGs の達成に貢献するものであるということを周知する取り組みについての考えは。
- 3 職員向けに、SDGs の研修を企画しては。
- 4 SDGs や本市のまちづくり構想を広く知ってもらうため、また、一人ひとりがまちづくりの当事者であることを理解してもらうための、一般の方や各種団体参加型のイベント開催を検討しては。
- 5 (仮称) 富谷市民図書館において、SDGs のコーナーを設置することを検討しては。